



木津川市気候非常事態・ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化に起因する気候変動により、世界各地で異常気象が多発しています。国内においても、猛暑や局地的集中豪雨などによる被害が発生しており、今後さらにこのような状況が進行していくことが懸念されています。

こうしたことを背景として、2015年に合意されたパリ協定においては、世界の平均気温の上昇を産業革命以前と比べて2℃より低く保つとともに、更に1.5℃に抑える努力を追求することが示されました。また、2021年に公表されたIPCC第6次評価報告書では、人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がなく、この人為的な地球温暖化を制限するには、今世紀半ばにCO₂実質ゼロ排出を達成し、他の温室効果ガスも大幅に削減する必要があることが指摘されました。

木津川市は、守り育てられてきた自然・歴史・文化と関西文化学術研究都市の魅力を生かし、子どもの笑顔があふれ、全ての市民が豊かな幸せを享受できるまちづくりを進めています。

そこで、木津川市は、気候変動が自然環境にもたらす影響が危機的な非常事態であることの認識に立ち、木津川市環境基本計画に掲げる「自然と暮らしが調和する持続可能な循環共生型の環境都市」の構築を目指し、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目標とする「ゼロカーボンシティ」を達成するため、市民・事業者とともに、その実現に向けて、取り組みを推進してまいります。

令和4（2022）年3月29日

京都府木津川市長 河井規子



「いづみ姫」

©木津川市